

子供の不安をやわらげるためにできること

本が好きな子供になってほしい・・・

習志野市総合教育センター

子供の様々な変化に不安を抱える保護者の皆様へ・・・

「本が好きな子供になってもらいたい」という保護者の方の話を聞くことがあります。外出自粛要請の中、せつかくですから家族で本を読む時間を作るのも良いかもしれません。

☆本が好きになるとどのような良いことがあるのでしょうか？

【人に伝える言葉が増える】

子供は自分の思いを伝えたり説明したりする言葉を多くもちません。本を読むことでその言葉が増え、自分の気持ちをより相手に詳しく伝えられるようになります。子供の癩癩^{かんしゃく}には、自分の思いを伝えられないことが原因のものもあります。本から自分の気持ちを伝える言葉を得ることは、子供自身の精神の安定にもつながります。



【集中力がつく】

『本を読んでいたらすごい時間が過ぎていた』という経験をもつ方もいるかと思います。読書は集中力を育みます。また「時間を忘れるくらい読書に集中する」ということは、ストレス発散に効果があるという外国の研究結果もあります。

【好奇心を広げる】

本には子供の知らない世界がたくさん描かれています。本を読むことで子供の中に好奇心が増えます。もし、本を読んだ子供が「カタクリってどんな花？」と聞いてきたら、全てを教えずに「きれいでかわいい花よ。でも詳しくは知らないから調べてみたら！」と言ってあげてください。子供は花の色から大きさ、咲く季節、片栗粉の事や花言葉までその好奇心をどんどん広げていくかもしれません。

☆本好きになるには？

・「この本を読ませたい」という保護者の思いもあると思いますが、それが子供のニーズとマッチするとは限りません。最初は、図書館等でたくさん本を用意して選ばせるところからでよいと思います。本嫌いの子供へは漫画から始めてもよいと思います。私自身『三国志』というゲームが漫画→小説→様々な中国の歴史を扱った本へと広がった経験があります。

・『読書タイム』なる時間を作ることも良いです。その時間は保護者の方も一緒に本を読むことをお勧めします。保護者の方に本を読む習慣がある家庭の子供は、本が好きになりやすい、という調査結果もあります。

※最近、著作権の切れた本をインターネット上に無料で読めるサイトもあります。本はかさばる、お金がかかるという場合はそれを利用すると面白いかもしれません。吉川英治の『三国志』やコナンドイルの『シャーロックホームズシリーズ』など著名な文学者の作品がたくさん読めます。

お子様の心の变化や登校渋り等でお困りの時は、総合教育センター教育相談を御利用ください。

総合教育センター 教育相談(047-475-8341) 青少年テレホン相談(047-475-7867)